



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社

コード番号 2108 URL <http://www.nitten.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中村 憲治

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 小島 洋司

TEL 03-6414-5522

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	27,750	0.5	989	△15.2	1,130	△10.8	717	△9.5
27年3月期第2四半期	27,620	0.7	1,167	137.3	1,267	115.2	793	129.2

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 2,294百万円 (4.1%) 27年3月期第2四半期 2,204百万円 (48.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第2四半期	5.02	—
27年3月期第2四半期	5.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第2四半期	91,693	66,654	72.7	466.28
27年3月期	94,322	65,049	69.0	455.45

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 66,654百万円 27年3月期 65,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	—	—	5.00	5.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	57,100	△1.0	1,660	△20.5	1,800	△21.0	1,090	△21.9	7.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	153,256,428 株	27年3月期	153,256,428 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	10,304,867 株	27年3月期	10,431,474 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	142,887,356 株	27年3月期2Q	142,681,568 株
----------	---------------	----------	---------------

(注) 自己株式には、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(従業員持株ESOP信託口)の所有する当社株式が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日~平成27年9月30日)におけるわが国経済は、企業収益が改善を続けるなかで、設備投資は緩やかな増加基調にあり、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、個人消費は底堅く推移しております。景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、中国経済をはじめとした海外景気の下振れなどの不安要素もあり、先行き不透明な状況が続いております。

砂糖業界におきましては、消費者の低甘味嗜好を背景に、安価な輸入加糖調製品や高甘味度人工甘味料の増加などから砂糖消費量は減少傾向にあり、厳しい状況が依然として続いております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比0.5%増の27,750百万円となり、経常利益は前年同期比10.8%減の1,130百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比9.5%減の717百万円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

<砂糖事業>

海外砂糖市況につきましては、ニューヨーク市場粗糖先物相場(当限)において1ポンド当たり期初12.32セントで始まり、主要砂糖生産輸出国ブラジルの天候不順による減産懸念等から5月に13.58セントまで上昇しましたが、世界的な供給過剰感やブラジル通貨レアル安の進行等により8月には10.39セントまで下落しました。その後、ブラジルをはじめ主要生産国の減産見通しの拡大やレアル相場の反発を受け、相場は上昇し12.17セントで当第2四半期連結累計期間を終えました。

一方、国内砂糖市況につきましては、期初185~186円(東京精糖上白現物相場、キログラム当たり)で始まり、そのまま当第2四半期連結累計期間を終えました。

ビート糖は、白糖の販売量はほぼ前年同期並となりましたが、生産増加に伴う原料糖の販売量増加があり、販売量、売上高とも前年同期を上回りました。

精糖は、業務用の減少があり、販売量、売上高とも前年同期を下回りました。

砂糖セグメントの売上高は前年同期比1.5%増の20,005百万円となりましたが、採算的に厳しい原料糖の販売量が増加したこともあり、セグメント利益は前年同期比31.9%減の538百万円となりました。

<食品事業>

イーストは、販売価格の上昇に加え、販売量の増加もあり、売上高は前年同期を上回りました。

オリゴ糖等機能性食品は、ラフィノース、スイートオリゴ等の販売が好調で、売上高は前年同期を上回りました。

食品セグメントの売上高は前年同期比14.2%増の1,297百万円となり、セグメント利益は前年同期比242.4%増の132百万円となりました。

<飼料事業>

配合飼料は、販売量の減少および販売価格の下落により、売上高は前年同期を下回りました。

ビートパルプは、平成26年産の繰越在庫の減少により販売量、売上高とも前年同期を下回りました。

飼料セグメントの売上高は前年同期比7.8%減の3,617百万円となり、124百万円のセグメント損失(前年同期は62百万円のセグメント損失)となりました。

<農業資材事業>

紙筒(移植栽培用育苗鉢)は、そ菜用の販売量の増加により、売上高は前年同期を上回りました。

農業機材は、移植機関連の販売減少等により、売上高は前年同期を下回りました。

農業資材セグメントの売上高は前年同期比3.6%増の1,471百万円となり、セグメント利益は前年同期比89.5%増の81百万円となりました。

<不動産事業>

不動産セグメントの売上高は前年同期比1.3%増の671百万円となり、セグメント利益はほぼ前年同期並の427百万円となりました。

<その他>

その他のセグメントの売上高は前年同期比 9.2%減の 686 百万円となり、114 百万円のセグメント損失(前年同期は 120 百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比 2,628 百万円減の 91,693 百万円で、このうち流動資産は、主にたな卸資産の減少により前連結会計年度末比 5,010 百万円減の 40,759 百万円となり、固定資産は、主に投資有価証券の時価の上昇により前連結会計年度末比 2,381 百万円増の 50,934 百万円となりました。

一方、負債の合計は、前連結会計年度末比 4,234 百万円減の 25,038 百万円で、このうち流動負債は、主に短期借入金の減少により前連結会計年度末比 4,864 百万円減の 11,540 百万円となり、固定負債は、主にその他に含まれる繰延税金負債の増加により前連結会計年度末比 630 百万円増の 13,498 百万円となりました。

純資産は、主にその他有価証券評価差額金の増加により前連結会計年度末比 1,605 百万円増の 66,654 百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、12,688 百万円の収入となり、前年同期に比べ、1,233 百万円の資金の増加となりました。

これは、主にたな卸資産の減少額の増加により 776 百万円、売上債権の減少により 537 百万円の資金の増加となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、2,081 百万円の支出となり、前年同期に比べ、3,395 百万円の資金の増加となりました。

これは、主に有価証券の収支差により 2,500 百万円、有形固定資産の取得による支出の減少により 1,216 百万円の資金の増加となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、8,359 百万円の支出となり、前年同期に比べ、2,029 百万円の資金の減少となりました。

これは、主に短期借入金の返済による支出の増加により 2,000 百万円の資金の減少となったことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同四半期連結累計期間末に比べ 3,010 百万円増加し、12,375 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)及び流動負債(その他)として繰延べております。

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,627	3,175
受取手形及び売掛金	7,370	7,231
有価証券	6,500	10,000
商品及び製品	22,381	8,838
仕掛品	1,972	498
原材料及び貯蔵品	2,756	3,969
その他	1,162	7,048
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	45,769	40,759
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,133	11,057
その他(純額)	12,439	12,400
有形固定資産合計	23,572	23,457
無形固定資産		
	216	169
投資その他の資産		
投資有価証券	23,689	25,984
退職給付に係る資産	923	975
その他	155	353
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	24,763	27,307
固定資産合計	48,552	50,934
資産合計	94,322	91,693

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,085	1,563
短期借入金	9,798	2,102
未払法人税等	250	423
その他	5,270	7,451
流動負債合計	16,405	11,540
固定負債		
長期借入金	331	364
役員退職慰労引当金	16	19
退職給付に係る負債	5,013	4,912
その他	7,506	8,201
固定負債合計	12,868	13,498
負債合計	29,273	25,038
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,404	8,404
利益剰余金	39,940	39,942
自己株式	△2,192	△2,165
株主資本合計	54,432	54,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,562	12,112
繰延ヘッジ損益	0	△1
退職給付に係る調整累計額	54	82
その他の包括利益累計額合計	10,617	12,193
純資産合計	65,049	66,654
負債純資産合計	94,322	91,693

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	27,620	27,750
売上原価	20,090	20,378
売上総利益	7,529	7,372
販売費及び一般管理費		
販売費	4,959	4,962
一般管理費	1,403	1,420
販売費及び一般管理費合計	6,362	6,382
営業利益	1,167	989
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	151	175
持分法による投資利益	12	22
その他	35	26
営業外収益合計	204	229
営業外費用		
支払利息	47	45
固定資産処分損	43	30
その他	12	12
営業外費用合計	103	88
経常利益	1,267	1,130
特別利益		
保険差益	1	-
特別利益合計	1	-
特別損失		
固定資産処分損	45	28
その他	0	-
特別損失合計	45	28
税金等調整前四半期純利益	1,223	1,102
法人税等	430	384
四半期純利益	793	717
親会社株主に帰属する四半期純利益	793	717

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	793	717
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,374	1,549
繰延ヘッジ損益	0	△1
退職給付に係る調整額	36	27
その他の包括利益合計	1,411	1,576
四半期包括利益	2,204	2,294
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,204	2,294
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,223	1,102
減価償却費	1,056	1,170
持分法による投資損益(△は益)	△12	△22
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	106	△69
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△12	△40
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△10	3
受取利息及び受取配当金	△156	△180
支払利息	47	45
有形固定資産除却損	32	27
売上債権の増減額(△は増加)	△397	139
たな卸資産の増減額(△は増加)	13,028	13,804
前払費用の増減額(△は増加)	△156	△171
未収入金の増減額(△は増加)	3	△71
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△5,787	△5,657
仕入債務の増減額(△は減少)	596	477
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11	△99
その他の流動負債の増減額(△は減少)	2,534	2,351
その他	△60	3
小計	12,022	12,813
利息及び配当金の受取額	155	180
利息の支払額	△50	△56
保険金の受取額	19	-
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△692	△248
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,454	12,688
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△800	△800
有価証券の取得による支出	△3,500	-
有価証券の売却及び償還による収入	1,000	-
有形固定資産の取得による支出	△2,303	△1,086
貸付けによる支出	-	△227
貸付金の回収による収入	0	70
預り保証金の返還による支出	△92	△92
預り保証金の受入による収入	200	57
その他	17	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,476	△2,081
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,920	1,920
短期借入金の返済による支出	△7,620	△9,620
長期借入れによる収入	160	130
長期借入金の返済による支出	△96	△93
配当金の支払額	△709	△711
自己株式の売却による収入	26	26
その他	△9	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,329	△8,359
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△351	2,247
現金及び現金同等物の期首残高	9,716	10,127
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,364	12,375

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	19,718	1,136	3,925	1,420	662	26,863	756	27,620
セグメント間の内部 売上高又は振替高	74	10	4	7	58	156	1,652	1,808
計	19,792	1,147	3,930	1,428	721	27,020	2,409	29,429
セグメント利益 又は損失()	791	38	62	42	425	1,235	120	1,115

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,235
「その他」の区分の利益又は損失()	120
セグメント間取引消去	57
その他の調整額	5
四半期連結損益計算書の営業利益	1,167

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	20,005	1,297	3,617	1,471	671	27,063	686	27,750
セグメント間の内部 売上高又は振替高	86	13	6	16	58	181	1,615	1,796
計	20,092	1,311	3,624	1,487	730	27,245	2,301	29,547
セグメント利益 又は損失()	538	132	124	81	427	1,055	114	941

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,055
「その他」の区分の利益又は損失()	114
セグメント間取引消去	47
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	989